

28日 木曜

Ⅱコリント

11:16 クリスチヤンとしているが、だれも、私を愚かと思ってはなりません。しかし、もしもそう思うなら、私を愚か者扱いにしなさい。私も少し誇ってみせます。

11:17 これから話すことは、主によって話すのではなく、愚か者としてする思い切った自慢話です。

11:18 多くの人が肉によって誇っているので、私も誇ることにします。

11:19 あなたがたは賢いのに、よくも喜んで愚か者たちをこらえています。

11:20 事実、あなたがたは、だれかに奴隸にされても、食い尽くされても、だまされても、いばられても、顔をたたかれても、こらえているではありませんか。

11:21 言うのも恥ずかしいことですが、言わなければなりません。私たちは弱かったのです。しかし、人があえて誇ろうとすることなら、・・私は愚かになって言いますが、・・私もあえて誇りましょう。

11:22 彼らはヘブル人ですか。私もそうです。彼らはイスラエル人ですか。私もそうです。彼らはアブラハムの子孫ですか。私もそうです。

11:23 彼らはキリストのしもべですか。私は狂気したように言いますが、私は彼ら以上にそうなのです。私の労苦は彼らよりも多く、牢に入れられたことも多く、また、むち打たれたことは数えきれず、死に直面したことしばしばでした。

11:24 ユダヤ人から三十九のむちを受けたことが五度、

11:25 むちで打たれたことが三度、石で打た



聖書の記述

強調しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

れたことが一度、難船したことが三度あり、一昼夜、海上を漂ったこともあります。

11:26 幾度も旅をし、川の難、盗賊の難、同国民から受ける難、異邦人から受ける難、都市の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、

11:27 労し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢え渴き、しばしば食べ物もなく、寒さに凍え、裸でいたこともあります。

11:28 このような外から来ることのほかに、日々私に押しかかるすべての教会への心づかいがあります。

11:29 だれかが弱くて、私が弱くない、とうことがあるでしょうか。だれかがつまずいていて、私の心が激しく痛まないでおられましょうか。

11:30 もしどうしても誇る必要があるなら、私は自分の弱さを誇ります。

11:31 主イエス・キリストの父なる神、永遠にほめたたえられる方は、私が偽りを言つていないのをご存じです。

11:32 ダマスコではアレタ王の代官が、私を捕えようとしてダマスコの町を監視しました。

11:33 そのとき私は、城壁の窓からかごでつり降ろされ、彼の手をのがれました。

パウロのように自分の経験を語る必要が生じるときがあります。そのときには誇りにならないように十分に気をつけましょう。そして語る必要があると判断したら大胆に語りましょう。またあくあまでも主の栄光のために、主の目的のために語りましょう。

パウロも「弱かった」と言っています。もともとは弱かった自分を主が強めたださったゆえに、自分でも主のみこころを行えたのだと、主の力を